

# 20190719 蔵前ゼミ (通算 第 77 回)



講演中の遠藤さん [科学技術行政の世界に飛び込んで]



会場風景 (すずかけ台, J221 講義室)



会場風景 (大岡山, S223 講義室)



パネル Discussion「霞が関における理系の役割は何か」



生きていけばいろいろな問題にぶち当たります。悩みながらも最終的には自分で考え自分で解決していくことになるわけです。そんな時に考え方ひとつで人生が大きく変わります。「ダメだこれは」と思うか「次のステージへ進むための試練」ととらえ挑戦するか。もちろん人生ですから、楽しくなければなりません。このゼミでは、社会人としての様々な仕事について学ぶとともに、苦しみながらも問題を解決したときの喜びに触れる機会が多かったと思います。是非参考にしてください。

2019-Q1Q2 期 終了の挨拶をする小倉支部長



交流会の様子 (すずかけホール 3F, ラウンジ)



ご講演とパネルディスカッションを通して、公務員について理解が深まったように感じました。尚、大変だなーと思いましたが、偉くなる方、官僚は約 2 年毎に移動で業務が変わるとのお話。2 年間で、雑用も多い中、業務に慣れ、アイデアを出し、実行するのは大変なことだと感じました。当然のことですが、非常に高い能力でないと務まりませんね。パネルディスカッションでは、学生に、難問の課題に対して何とか自分なりの回答を絞り出す経験をさせて下さり、深く感謝申し上げます。

ゼミの司会をする橋爪さん



- A** 安藤さん (交流会の司会) 今回が 77 回目、切りのいい数字となります。
- B** 小倉さん (開会) 官僚は法律を作るから、歴史的に、法学部の人が多かったが、これからは、PD で話題になったように、文系人にできることはすべて理系人にもできると思って、行政畑でも大いに活躍してください。
- C** 太田さん (生命理工 挨拶) 文系が官僚を敬遠しがちな今がチャンスゆえ、理系が文科省だけでなく財務省等にも入って国の政策を担って欲しい。
- D** 遠藤さん (乾杯) 将来を考える材料を提供できたとすれば幸いです。
- E** 錦織さん (閉会) ゼミが 12 年も続いているのは創設者として感無量です。先輩を活用することとゼミの印象記を読むことを心掛けて下さい。